



▲ギリシャから東松島へ、そして全国へ（市役所矢本庁舎1階に掲示中のカウントダウンボード（1月15日撮影））

問 聖火到着日をメモリアルな日に

答 記念日、制定すべきと考える



小野 恵章 議員

問 市長へ質問
 令和2年3月20日、松島基地に東京2020オリンピック、パラリンピック聖火が降り立つ。この事実を後世に残すべく、

き歴史的な日として、本市の記念日とし制定すべきである。「スポーツ振興東京2020聖火到着地記念日」の制定は。

答 大変意義深い提案と感じており、聖火到着の記念日は制定すべきと考える。大会ブランド保護基準等の制約や取り決めがあり、名称等について関係機関と調整を行い、検討する。



問 スポーツ振興と地域活性化、拡大を図る各種スポーツ大会誘致や創設について。

答 スポーツ健康都市宣言を行い、活動の充実を図りたい。各種運動施設を活用した東北大会等の積極的誘致を行い、地域の活性化に繋げていく。

答 教育長 各学校にてオリンピックを貴重な教材とするとともに、スポーツの教育的意義や効果を学ぶ絶好の機会として活用していく。

問 友好都市から経済互換都市へ市長へ質問
 震災後、友好都市とは様々な交流が図られ、本市へ支援をいただいできた。互いの経済に寄与する事業交流について。

答 提案の豊前市特産品の鱧等の市場拡大への協力について、前向きに検討する。各友好都市と相互の経済互換的な取り組みを、積極的に進めていく。

問 原発災害広域避難計画を問う

答 県や国、事業者が検討準備する



長谷川 博 議員

問 市長へ質問
 鷹来の森検査ポイント通過に34日間かかる予測あり。交通渋滞、混乱の予測、検査台数、検査時間の検討は。

答 交通渋滞予測は宮城県が今年度に調査する予定であり、結果を待つ。

問 バスによる避難では最大で1万人、250台必要だとしているが。研究者によれば、緊急時に都合良くバスが待機していることはなく、利用可能な台数は30%、乗車可能人数は対象の1%としている。

答 県がバス協会と協定締結し確保するとしているが、詳細の報告はない。

問 避難時、待機時間が長ければポイントを經由



▲（上段）避難所受付ステーションで避難先を指示（下段）汚染部分を拭き取る

せずに避難所に向かう市民への対応は。

答 県に検査の円滑化を要望、避難受け入れ部分で検査するよう要望する。

問 避難計画の実効性は全く不十分、市長は市民の安全安心を大前提に女川原発再稼働と向き合うべきだ。

答 国のエネルギー政策の観点もあり、UPZ自治体として注視していく。

問 市営墓地の整備について、今日、少子高齢化、核家族化によりお墓に対する考え方に大きな変化が生じている。平成27年度の公営墓地基礎調査でも墓地取得希望者の半数が公営墓地を希望している。整備について検討すべき。

答 来年度にアンケート調査する。秋田市の事例なども調査研究したい。